

科目コード	4003527
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	WK
科目名	環境と資源循環の経済学
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アベ アラタ 阿部 新 (山口大学教授)
日程 実施時間	2026年12月12日(土)第1時限 09:30～11:00 2026年12月12日(土)第2時限 11:10～12:40 2026年12月12日(土)第3時限 13:30～15:00 2026年12月12日(土)第4時限 15:10～16:40 2026年12月13日(日)第1時限 09:30～11:00 2026年12月13日(日)第2時限 11:10～12:40 2026年12月13日(日)第3時限 13:30～15:00 2026年12月13日(日)第4時限 15:10～15:55
実施会場	この授業は、【ライブWeb授業のため自宅等(学習センターでの受講は不可)】で行います。

授 業 概 要	【授業内容】 われわれは日常的に廃棄をします。それは往々にして家庭ごみの排出をイメージしますが、大気汚染や水質汚濁、温室効果ガスの排出なども構造的には同じ廃棄です。さらに空き家や里山荒廃も人間の廃棄に起因した問題と言えます。一方、それらは全てが循環しているかという、そうではありません。資源循環の根底には経済性があり、使用可能なものであっても処分されることがあります。本授業では、資源循環に関わる経済メカニズムを理解し、どのようにすれば望ましい資源循環ができるのかを考えます。 【到達目標】 資源循環に関わる経済メカニズムを理解し、望ましい資源循環について説明することができる。 【授業テーマ】 第1回汚染 第2回ポイ捨て 第3回漂着ゴミ 第4回国境を越える資源循環 第5回サーキュラーエコノミー 第6回気候変動 第7回里山 第8回域内循環の可能性 【学生へのメッセージ】 経済学の視点でわかりやすく説明します。社会で起きている問題やそれに対応する制度を捉えることだけでなく、理論的にどのように説明できるかを理解することも目標になります。 【受講前の準備学習等】 パソコンの基礎的スキル(マウスの操作など)は身につけておいてください。シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認の上、必ず「ライブWeb授業(体験版)」を受講してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン(タブレット端末やスマートフォンは推奨しません)、マイク・ヘッドフォン等、Web(Zoom)授業の受講に必要な設定等の準備。 授業資料や事前連絡はPDFファイルでLMSから配付します。PDFファイルを表示できるブラウザを用意するか、AcrobatReaderをインストールしておいてください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 【その他(特記事項)】 Webカメラの準備を推奨します。パソコンの使用に慣れていて、LMS画面、Zoom画面などの複数画面の同時操作ができること、フォルダやファイルの操作ができ、またキーボード入力に支障のない方を対象とします。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配付、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/
------------------	--